

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第二		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	荒井 郁男		
居室	西2-823		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題： 電磁気学、電気・電子回路など電子工学を学ぶ上では、大切な道具である種々の数学的テクニックを使えることが重要である。本講義では、工学基礎演習第一と連携して、電子工学を学ぶために是非とも必要と思われる基本的な数学の演習を行う。</p> <p>(b) 達成目標： 内容的に高等学校の数学と重複するところもあるが、特に電子工学に関係した例題や問題を多く取り扱い、道具としての基礎トレーニングを行う。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
工学基礎演習第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
微分積分学第一

<b>【教科書等】</b>
教科書：森武明、大矢征著「電気電子工学のための基礎数学」森北出版

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>(a) 授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数列とその極限</li> <li>・ 関数の極限</li> <li>・ 微分計算法</li> </ul>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

- ・微分の応用
- ・偏微分とその応用
- ・積分計算法
- ・積分の応用
- ・微分方程式

(b)授業の進め方：

講義時間内に、講義、演習、小テスト、試験を行う。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

a) 評価方法：

演習問題解答と試験の結果から総合評価する。

成績評価 = (演習・小テストの評価点 × 60%) + (試験の評価点 × 20%) × 2回

(b) 評価基準：

成績評価点 60 点以上を合格とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

第 1 回目の講義の際に通知する。

また、事前に電子メールにて面会時間を予約する場合は柔軟に対応する。

### 【学生へのメッセージ】

演習を通して問題の解き方を習得し、専門科目の学習に役立てて欲しい。

### 【その他】